

※=====※

TRACK 01

※=====※

★フィリーネ：

こんばんは～。

あ、起きてた。

ねえねえ、セックスしよ♡

◎シルヴィア：

はあ、結論から言うのはやめなさい。

いつもいってるじゃないですか、意味がわからないでしょう？

★フィリーネ：

でもお～♡

はあ、もう我慢できないよお♡

◎シルヴィア：

ちょっとフィリーネ、落ち着きなさい。

……とりあえず、あなたに拒否権はない、という前提で説明しますね。

★フィリーネ：

あ、時間もったいないから、お洋服、脱いじゃおっか。

◎シルヴィア：

……先ほどマンティコアとの戦いで、私たちは新しいスキルを使用しました。

そのことは覚えてますよね？

★フィリーネ：

ふふっ、脱ぎ脱ぎしようねえ♡

◎シルヴィア：

スキルの名前は『ラストスパーク』

対象者の能力を一時的にあげるスキルです。

★フィリーネ：

でもお、副作用が、あったみたいでえ♡

◎シルヴィア：

ええ、ずっと発情してて、はぁ、興奮がおさまらないのです。

私も必死で抑えているのですが、んっ、

もう我慢できそうにありません。

★フィリーネ：

説明ありがと〜♡

★フィリーネ：

というわけでえ、はあ、セックスしよ。

◎シルヴィア：

先ほども言いましたが、あなたに拒否権はありません。

私たちが正気をギリギリ保っているうちに、協力してください。

★フィリーネ：

そうそう、それにキミも絶対気持ちいいよ。

◎シルヴィア：

ふふっ、おちんぽもビンビンじゃないですか。

★フィリーネ：

あはっ、ホントだー♡

お姉ちゃんたちが発情してるの見て、興奮しちゃったんでしょ？

◎シルヴィア：

なら話は早いですね。

★フィリーネ：

じゃあ、今日は私からね。

ふふっ、前戯なんていらないよぉ♡

だってずっと濡れ濡れなんだもん♡

★フィリーネ：

それじゃあ、挿れちゃうね♡

★フィリーネ：

んっ、あっ、はあ、んうん！

★フィリーネ：

あはは、入っちゃった。

このまま動いちゃうよ。

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、はあ、んっ、ああん♡

すごい、ずっと我慢してたからあ、

ああん、気持ちいいよお♡

はっ、あんっ、んうん、んっ、ああん♡

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、はあ、んっ、ああん♡

んう、んっ、あんっ、はあ、んっ、ああん♡

◎シルヴィア：

はあ、フィリーネのおまんこに、んっ、太いのが入って。

くっ、あんなの見せられたら、私も我慢できなくなってしまう。

◎シルヴィア：

はぁ、んっ、あぁんっ、指が、動いてっ♡

はぁ、あんっ、あんっ、はぁ、んっ、あぁん♡

★フィリーネ：

あはっ、見て見て～、シルヴィアったらオナニーしてるよ。

私たちのセックスみて興奮してくれてるみたい。

◎シルヴィア：

し、仕方がないじゃないですか。

ずっと、体がうずいて、んっ、止まらないんですっ♡

★フィリーネ：

じゃあ、私も思いっきり腰振っちゃお。

すぐにイっちゃダメだよ？

もし、途中でイッても、やめたりなんかしないからね。

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、あんっ、はぁ、あぁん♡

キミのおちんちんやっばりいいよお♡

あんっ、はぁ、んっ、んっ、うんん♡

発情してるから、いつもよりずっと感じちゃう。

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、はあ、んっ、んっあん♡

ふうん、んっんっ、はあ、んっ、んっ、ひゃん♡

んんう、あんっ、ああんっ、んっ、はあん♡

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、はあ、んっ、んっあん♡

あんっ、あんっ、はあ、んっ、んっあん♡

◎シルヴィア：

はあ、フィリーネ、さっさとイッて代わってください。

でないと、私も、んっ、我慢できません。

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、あんっ、はあ、ああん♡

んっ、あっ、はあ、んっんっ、ああん♡

はあ、おまんこ、気持ちいいっ。

あっ、ダメっ、イクッ、イクッ、イクッ♡

うん！

中に、中に出してえ♡

★フィリーネ：

あっ、あっ、ああああ！！

いっくううう～～～♡

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、はあ、んっ、んっあん♡

あんっ、あんっ、んっ、くう、はあん♡

んっくっ、あんっ、はあ、んっ、んっ、いっ♡

あんっ、あんっ、はあ、んうん、ひゃあん♡

ひっ、ひっく、ひく、んううん♡

★フィリーネ：

……はあはあ、いっちゃった。

★フィリーネ：

あはっ、中に、熱いのいっぱい出てる。

すご～い♡

★フィリーネ：

ちゅっ♡

★フィリーネ：

あはっ、また硬くなってきたあ♡

もう一回しちゃう？

◎シルヴィア：

ダメです。

代わってください。

◎シルヴィア：

私も、その、おちんぽ、欲しいです。

★フィリーネ：

もお～、仕方ないなあ。じゃあ、交代ね。

◎シルヴィア：

全く……連続でいけますか？

うわ……出したばかりだというのにこの硬さ。

まったく、あなたの成長には驚かされるばかりです。

★フィリーネ：

昔、最弱とかお荷物とか言われてたのが嘘みたい。

◎シルヴィア：

本当に、今や頼もしいエースですからね。

もっともこっちも随分立派になりましたが。

★フィリーネ：

そうだよね～。

硬くて太くて本当に立派なおちんちんだもん♡

◎シルヴィア：

ええ、入れますよ？

◎シルヴィア：

んっ、あっ、はぁん。

◎シルヴィア：

す、すごい、連続なのに、この硬さ。

なんと頼もしいのでしょう。

★フィリーネ：

ねー、すごいよね。

ついこの間まで童貞だったのが嘘みたい。

◎シルヴィア：

ええ、それでは動きますよ。

最初から本気で行きますから、しっかりおちんぽ勃起させてくださいね。

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、あんっ、はぁ、あぁん♡

★フィリーネ：

ああ、すごい、シルヴィアったら、

あんなに腰振って。私よりえっちなんじゃない？

◎シルヴィア：

しっ、仕方ないじゃないですか。

ずっと我慢してましたし、

それに……二人のを見ていたら、

奥からあふれてきて、止まらなくなってしまったんです。

◎シルヴィア：

んあっ、あんっ、はあっ、ああ、ああん♡

★フィリーネ：

あはっ、シルヴィアもだいぶ素直になってきたねー。

じゃあ、お姉ちゃんは、耳元で喘いで応援してあげる♡

おちんちんいっぱい硬くして、シルヴィアのことも満足させてあげてね。

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、ああん、はあ、んっ、ああんっ♡

んうん、あんっ、あんっ、はあ、あんっ♡

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、はぁ、すごっ、あっ、あんっ、

はぁ、気持ちいいっ。

ああっ、ダメっ、ダメですう、

ひっ、んっ、ひうん♡

これ、気持ちよすぎて、すぐいっちゃう。

★フィリーネ：

ほらほら～、二人の喘ぎ声で、いっぱい気持ちよくなっちゃおう。

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、ああん、はぁ、んっ、ああんっ♡

んふう、あんっ、ああん、あはっ、んっ、ああんっ♡

ふう、あんっ、ああん、はぁ、んっ、んっ♡

◎シルヴィア：

あんっ、フィリーネ、んっ、煽らないでください。

そんなっ、中で膨らんでっ♡

はぁ、んっ、ひいん、ふっ、うっ、んっ、んっあんっ♡

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、あんっ、はぁ、ああん♡

あひっ、ひっ、ひうん♡

も、もう、無理い、いく、いっちゃうう♡

◎シルヴィア：

ああっ、ダメっ、ダメっ、ダメっ、いっくううう♡

◎シルヴィア：

は一♡は一♡いってしまいましたぁ……。

すごい、中に、熱いのが、こんなに……。

★フィリーネ：

ふふっ、いっぱい出したね～。

◎シルヴィア：

ええ、ですが、これで終わりではありませんよ？

★フィリーネ：

そうそう、私たちが一回で止まると思った？

◎シルヴィア：

今夜は一晩中、付き合ってもらいますよ。

そうすれば明日には、スキルの影響も消えるでしょうから。

※=====※

TRACK 02

※=====※

◎シルヴィア：

ふう、ラストスパーク、扱う分は問題ありませんね。

となると問題は副作用ですか。

……んっ♡ええ、やはり出ますね。

今、来ました。体が、ピリピリってます。

◎シルヴィア：

ええ、あなたが目の前にいるのに、隠しても仕方がないでしょう。

しかし、これくらいの発情、私の理性で抑えて見せます。

昨日は不覚を取りましたが、二度はありません。

……では、宿に戻りましょうか。

◎シルヴィア：

ふうー♡ふうー♡

◎シルヴィア：

大丈夫です。

ちょっとあなたの、に、匂いが気になっているだけです。

その、練習のあとですからね。

いえ、嫌な匂いではありませんよ。

◎シルヴィア：

すー、ふうう♡

◎シルヴィア：

むしろ逆です。いい匂いですよ。

それに、その息遣いも、なんだか、とても……、

んっ、ふうう♡

◎シルヴィア：

ま、待ちなさい。

……私が戦闘中に発情状態であれば、

あなたや後衛のフィリーネにも、迷惑がかかります。

当然、任務にも支障が出るでしょう。

◎シルヴィア：

つまりここで性欲を発散させるのは、訓練と言えるのではないのでしょうか？

そうと決まれば……ちょっと手伝ってもらいますよ。

◎シルヴィア：

抵抗しないでください。これは訓練なのです。

ええ、なるべく手早く、私の性欲を発散させることで、
ラストスパークの副作用を解消させる訓練です。

◎シルヴィア：

んっ、ちゅっ、ちゅばっ、はぁ、んっちゅうう。

◎シルヴィア：

はぁはぁ、あなたも興奮しているじゃないですか。

ズボンの中でこんなに硬くして。発情している私を見て興奮したのでしょうか？

ほら、おちんぼ、出しなさい。

◎シルヴィア：

大丈夫、すぐやれば、すぐに終わってしまいますよ。

はぁはぁ、前戯は不要です。

副作用でしょうか？

あなたの汗や、んっ、呼吸を感じるだけで、
ぐっしょりと濡れてしまっているのです。

自分でも驚くくらい、おまんこが開いてしまって、

んっ、あなたの太いものでも、すぐに受け入れられてしまいそうです。

◎シルヴィア：

はぁ、入れますよ。

◎シルヴィア：

んうん！

一気に、奥まで、おおっ♡入ってますう♡

◎シルヴィア：

はぁはぁ、入れただけでこんなに感じるなんて。

ええ、このまま私が動きます。

あなたは勃起にだけ集中してください。

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、はぁ、あんっ、ああんっ♡

いいっ、おちんぼ、いいっ♡

カチカチおちんぼがぁ、私の中で暴れてますう♡

あんっ、あんっ、あんっ、ああん♡

あんっ、はぁ、んっ、あっ、ああん♡

◎シルヴィア：

んうん！

◎シルヴィア：

あはっ、この感触、さてはお漏らししてしまいましたね。

中でとぶとぶって精子が当たってますよ。

ふふっ、強くなっても早いのは変わりませんね。

ですが、私はまだまだ満足していませんよ。

きゅっと締めて、おちんぽを再勃起させてあげます。

◎シルヴィア：

ほらぁ♡また硬くなりましたよ。

ふふっ、すぐ復活できるじゃないですか。

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、はぁ、んっ、あぁん♡

おちんぽ、気持ちいい♡

ダメェ、理性飛んじゃう♡

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、あんっ、あぁん♡

ほら、もう一発中にください。ふふっ、今度は私もいきそうです。

◎シルヴィア：

あんっ、あんっ、あんっ、あぁん、あんっ、あんっ、

はぁ、イクイクイクイクう！！

◎シルヴィア：

勃起おちんぽでえ♡いっっっぐうううう♡

◎シルヴィア：

ふふっ、また出しましたね。濃いのが当たってるのがわかりますよ。

◎シルヴィア：

ちゅっ♡

◎シルヴィア：

……はあはあ、ようやく、治まりました。

◎シルヴィア：

ふう……訓練につきあっていただき、

ありがとうございます。

※=====※

TRACK 03

※=====※

★フィリーネ：

あれえ？こんなところでどうしたのお？

もしかしてお姉ちゃんとお風呂入りたいのかなあ？

時間？

あ、そっか、今、男性の時間なんだ。

誰もいないからうっかりしてた。

★フィリーネ：

くすくす、ねえ、なんでそんなに距離取るの？

せっかくだしお姉ちゃんと一緒に入ろうよ。

ふふっ、ラストスパーク？使ったよ。

だって使わないと研究もできないでしょ？

今は副作用状態。

キミのおちんちんが欲しくてたまらないのお♡

ほら、お姉ちゃんのこともしっかり愛してよ。

だ〜め、逃がさないよ。

★フィリーネ：

ふふっ、押し倒しちゃったあ♡

いくらキミが強くなったとしても、お姉ちゃんには勝てないでしょ。

だ〜め、じっとしてて。

一緒にいっぱい気持ちよくなろ。

★フィリーネ：

んっ、ちゅっ、ちゅっ♡

んあ、ちゅっ、ちゅう♡

★フィリーネ：

ふふっ、キミのおちんちんもおっきくなってるう♡

それならこのまま入れちゃおうか？

もうぐちょぬれなんだもん。

入れただけでいっちゃいそうなくらい、はあ、敏感になってるのお♡

んっ、ほらほらあ、おちんちん入っちゃうよお♡

★フィリーネ：

んん〜〜♡

はあ、一気に奥まで入れちゃった。

おちんちん、気持ちいいよお♡

★フィリーネ：

このまま一気に絞っちゃうからね。

あんっ、あんっ、あんっ、はあん、んっ、んっ♡

お姉ちゃんの騎乗位はどう？

目の前で爆乳がぶるんぶるんって揺れて、とってもエッチ。

あはは、目がおっぱいに釘付けになってるね。

★フィリーネ：

下品すぎておちんちんが喜んじゃうんでしょ？

あんっ、あん、はあ、んっ、んっ、んうん♡

はあ、私も腰が止まらなくなっちゃう。

あんっ、あんっ、はあ、ああんっ、あんっあんっ♡

ほらあ、好きなだけいじっていいんだよ？

キミはあ、お姉ちゃんの陥没乳首を勃起させるの、大好きだもんね♡

あんっ、はあ、んっ、んっ、ああん♡

夢中になっちゃって、本当に可愛い♡

んっ、あっ、ああんっ、あんっ、あんっああん♡

お姉ちゃんも気持ちいいよ。

いっぱい感じさせてほしいな。

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、あんっ、あんっ、ああん♡

ほらほら～、中に出しちゃえ～♡

早漏おちんちんだから、無理しなくていいんだよ。

お姉ちゃんの中にいっぱい出しちゃえ♡

★フィリーネ：

ほら、いっちゃえ。

中でぴゅっぴゅっして♡

ぴゅっぴゅっぴゅっ、

ぴゅっぴゅっぴゅっううう～～♡

★フィリーネ：

あはっ、出てる出てるう。

イキ顔可愛い～。

ん～、ちゅっ♡

★フィリーネ：

でも、まだまだ～、まだお姉ちゃん、イってないもん。

抜かずにもう一回行くからね♡

★フィリーネ：

あんっ、あんっああん、んっ、ああん♡

ほら、おちんちんがんばれ♡

★フィリーネ：

もっとおまんこ気持ちよくしてよ。

あんっ、あんっ、はあ、あんっ、あんっああんっ。

ほらあ、もう硬くなってるぅ♡

無理だなんて嘘ばかり。

本当はキミもお姉ちゃんと、エッチしたかったんだもんね？

あんっ、あんっ、あんっああん、んっはあん。

ふふっ、おちんちんガチガチ〜♡

たまんないよお♡

あんっ、あんっ、はあ、

んっ、んっ、んんうん♡

はあ、そろそろいきそう、

キミも出ちゃいそうかな？

いいよ、出しちゃえ。

お姉ちゃんが全部中で受け止めてあげるぅ♡

★フィリーネ：

ほ～ら、ぴゅっぴゅっぴゅっ～♡

どくどく、どくどく、どくどくどく～♡

ぴゅるっ、ぴゅるっ、ぴゅるるるる～♡

★フィリーネ：

あっ、来たっ、んうんん♡

はあああん♡

★フィリーネ：

ふふっ、いっぱい出せたね～。

たくさん頑張れてえらいよ。

★フィリーネ：

ちゅっ♡

★フィリーネ：

お姉ちゃんも中出しされてイっちゃった♡

※=====※

TRACK 04

※=====※

★フィリーネ：

今日もお疲れ様。

って、あれ？

顔色悪いけど大丈夫？

◎シルヴィア：

……やはりやりすぎているかもしれません。

★フィリーネ：

え？何が？

◎シルヴィア：

セックスです。

連日の任務に加え、夜は私たちの相手。

おそらく彼の体力は限界に近いのでしょう。

★フィリーネ：

そっか～、じゃあ媚薬の量、もう少し増やす？

私たち二人を相手にした上で、

オナニーできるくらいのレベルまで足しちゃおっか♡

◎シルヴィア：

殺す気ですか。

そんな場当たり的な対処ではなく、もっと根本的な解決が必要でしょう。

★フィリーネ：

そっか〜、じゃあレベルアップを、おちんちんに使ってみる？

◎シルヴィア：

……できるのですか？

★フィリーネ：

多分、応用すればできると思う。

そもそも普通のレベルアップと一緒に、

おちんちんも強くなってるみたいだから、

おちんちんにだけ重点的にスキルを使えばいけるはず。

◎シルヴィア：

なら、決まりですね。

……こら、どこに行こうというのです？

逃しませんよ。

★フィリーネ：

はい、捕まえた〜♡

◎シルヴィア：

ちっ、レベルアップしたせいか、

前より力が強いですね。

こら、おとなしくしなさい。

私たちとセックスするのがそんなに嫌なのですか？

★フィリーネ：

……スキル解放、『ラストスパーク』

★フィリーネ：

ほら、これで私たちの方が強い。

◎シルヴィア：

ふう、仕方ありません。

スキル解放、『ラストスパーク』

◎シルヴィア：

抵抗するあなたが悪いのです。

★フィリーネ：

あ〜あ、どうするう？

こうなったら二人とも止まらないよ♡

◎シルヴィア：

さあ、無駄な抵抗はやめて、

さっさとおちんぼを出しなさい。

★フィリーネ：

ふふっ、脱がないなら、無理にでも脱がせちゃうよ。

◎シルヴィア：

では、私は耳舐めを。

抵抗できないくらい気持ちよくしてあげますよ。

◎シルヴィア：

んっ、ちゅっ、ちゅっ、れえろ、れろろえろっ。

んうん、れえろ、れえろ、れえろ、

んうん、れろれろれろれおっ♡

★フィリーネ：

ふふっ、ズボン一気に引き下ろしちゃうからね。

★フィリーネ：

ほ～ら、おちんちん丸出しだよ♡

◎シルヴィア：

ふふっ、こんなにいやらしく勃起して。

本当はこうやって私たちに迫られるのが、

好きなのでしょう？

全く、素直じゃないんですから。

★フィリーネ：

ふふっ、シルヴィアの耳舐め、

気持ちいいんでしょ？

★フィリーネ：

なら私はおちんちんを食べちゃうよ。

いただきます。

★フィリーネ：

んっ、あむっ、ちゅっぱっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、

んう、ちゅう、ちゅうっ、ちゅぱちゅぱちゅぱっ♡

んあ、れえろれえろ、ちゅう、ちゅうっ、ちゅぱちゅぱちゅぱっ♡

んっ、あむっ、ちゅっ、ちゅるるるるるるう♡

◎シルヴィア：

んう、れろれろっ、れろれろっ、はあ、れろれろっ♡

んっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、んっ、れろれろっ、れろれろっ♡

ちゅぱっ、んっ、ちゅるるる♡

ふふっ、耳舐めされながらのフェラ、いかがですか？

★フィリーネ：

すっごく気持ちよすぎて、おかしくなっちゃいそうでしょ？

★フィリーネ：

んっ、あむっ、ちゅっぱっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、

んう、ちゅう、ちゅうっ、ちゅぱちゅぱちゅぱっ♡

んっ、れえろ、れえろ、れえろ、れろれろれろっ♡

んう、ちゅう、ちゅうっ、ちゅう、ちゅるるる♡

◎シルヴィア：

んう、れろれろっ、れろれろっ、はあ、れろれろっ♡

んう、れろれろっ、れろれろっ、

んう、れろれろっ、れえろ、れろれろっ♡

んっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、んっ、ちゅるるる♡

◎シルヴィア：

フィリーネ、そろそろ交代しましょうか？。

★フィリーネ：

おっけー、じゃあ、今度は私がお耳ね。

★フィリーネ：

ふふっ、せっかくだし、

シルヴィアと反対側に行こうかな。

◎シルヴィア：

私がおちんぽを舐めますからね。

◎シルヴィア：

すうんすん、はぁ～～♡

◎シルヴィア：

はぁ、本当に、いい匂いのするおちんぽですね。

もう、我慢できません。

◎シルヴィア：

あむっ、んうん、ちゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、

はぁ、ちゅぱっ、ちゅぱっ♡

んっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、

はぁ、れろれろれろっ、れえろれえろ。

◎シルヴィア：

んっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、ちゅぱっ、

はぁ、れろれろれろっ、れえろれえろ。

んっ、じゅぷっ、じゅぷっ、じゅぷっ、じゅぷっ、

はぁ、れろれろれろっ、れえろれえろ。

んっ、じゅぽっじゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ♡

んう、ちゅる、ちゅるっるるうる♡

★フィリーネ：

ふふっ、お耳、真っ赤だよ。

二人に責められて感じちゃってるんでしょ？

キミ、責められるの大好きだもんね。

★フィリーネ：

んう、れろれろれろっ、れえろれえろれえろ、

んう、れえろれえろ、れろろろろろっ♡

お姉ちゃんたちに責められると、

変態おちんちんがビンビンになっちゃうんでしょ？

んう、れろれろれろっ、れえろれえろれえろ、

んう、れえろれえろ、れろろろろろっ♡

★フィリーネ：

あはは、シルヴィアったら、がつつきすぎい♡

おちんちんの味、大好きだもんね。

◎シルヴィア：

ふはあ♡

ふふっ、発情おちんぽの味、たまりません♡

それにこんなにたくましく出来るなら、

心配は要りませんね。

★フィリーネ：

わあ、ほんとだあ♡

すぐにでもぴゅっぴゅっしちゃいそう。

◎シルヴィア：

ふふっ、ですが、これではまだ足りません♡

★フィリーネ：

もっとつよつよおちんちんになろうねえ。

二人のことを満足させられるくらいにならないと。

◎シルヴィア：

んっ、ちゅっ、れろれろっ、れろれろっ、れろれろれろっ♡

◎シルヴィア：

んっ、じゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ、んっ、じゅぽっ、じゅぽっ、じゅぽっ♡

はあん、じゅるるる♡

★フィリーネ：

んう、れろれろっ、れろれろっ、んう、れろれろっ、れろれろっ♡

おちんちん、勃起♡おちんちん勃起♡

お姉ちゃんたちのために勃起♡

んう、れえろ、れえろ、れろれろれろっ♡

◎シルヴィア：

さあ、仕上げをしましょうか。

★フィリーネ：

うん、仕上げはダブルフェラだよ～。

耐えられるかなあ？

◎シルヴィア：

んっ、じゅぽっじゅぽっじゅぽっ、じゅぽっ♡

んっ、れえろれろれろ、れろれろっ、れろれろっ♡

れろれろっ、れろれろっ、れろれろれろっ♡

んっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅううっ♡

★フィリーネ：

んっ、れえろれろれろ、れろれろっ、れろれろっ♡

んっ、じゅぽっじゅぽっじゅぽっ、じゅぽっ♡

れろれろっ、れろれろっ、れろれろれろっ♡

んっ、ちゅっ、ちゅっ、ちゅううっ♡

★フィリーネ：

あっ、出てきたぁ♡

◎シルヴィア：

びゅっ、びゅっ♡ってすごい勢いですね♡

★フィリーネ：

あはっ、顔にかかっちゃったぁ♡

こんなにたくさん、えっちすぎぃ。

◎シルヴィア：

ふふっ、二人に舐められて、

興奮してしまったのでしょうか？

★フィリーネ：

この調子でおちんちんのレベル上げ、

していこうね♡

※=====※

TRACK 05

※=====※

◎シルヴィア：

こら、まだ終わりではありませんよ？

★フィリーネ：

一回出ただけで解放されると思ってるの？

◎シルヴィア：

自分一人だけ気持ちよくなって終わりだなんて、
そんな都合のいいことあるわけないでしょう？

★フィリーネ：

ふふっ、ふたりでおっぱいプレスだよ〜♡

◎シルヴィア：

こうして美女二人に囲まれる気分はどうですか？

★フィリーネ：

あはっ、答え出てるみたい。おちんちんビンビンだよお〜♡

おっぱいに挟まれたただけですぐ勃起しちゃうね♡

◎シルヴィア：

この調子でレベルをあげていきましょう。

◎シルヴィア：

んっ、ちゅっ、れえろれろれろろっ♡

んぱっ、ちゅう、れえろ、れろれろろっ♡

★フィリーネ：

んっ、ちゅっ、れえろれろれろろっ♡

んぱっ、ちゅう、れえろ、れろれろろっ♡

★フィリーネ：

ほ〜ら、おちんちんフル勃起♡

準備完了だね。

◎シルヴィア：

私たちのおまんこも、すでに濡れてます。

さあ、二人を満足させられるように、頑張ってもらいますよ。

★フィリーネ：

うんうん、まずはお姉ちゃんのおまんこから召し上がれ♡

キミが入れやすいように、ぜ〜んぶ開いて丸見えにしてあげるう♡

ねえ♡早く挿れてよお♡

◎シルヴィア：

ふふっ、私は後ろからサポートしてあげます。

戦闘時とは逆ですが、たまにはこういうのもいいでしょう？

★フィリーネ：

あっ、入ってきてるっ♡

キミのおちんちん、気持ちいいっ♡

挿れただけでいっちゃいそう。

◎シルヴィア：

ほら、私は乳首を責めて、

サポートしてあげましょう。

◎シルヴィア：

あなたの乳首を、くりくりくりくり♡

くりくり、くりくり、くりくり～♡

くりくり、くりくり♡くりくり、くりくり♡

★フィリーネ：

ねえねえ、動いてえ♡

お姉ちゃんのとろとろおまんこ、

キミのたくましいおちんちんで、いっぱい突き上げてえ♡

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、あんっ、ああんっ、

あんっ、いつもよりおっきい感じがするぅ♡

★フィリーネ：

あんっ、あんっ、ああんっ♡

あんっ、あんっ、ああんっ♡

はひい、はひい、ひんっ♡

はひい、はひい、ひんっ♡

あんっ、あんっ、はあ、ああん♡

あんっ、腰使い激しくなったあ♡

エロエロすぎるよお。何これえ♡

男らしくてかっこいいよお♡

おまんこ気持ちいいっ♡

◎シルヴィア：

このままお耳も責めてあげますよ。

んっ、ちゅっ、れろれろれっ♡

んっ、んあ、れえろ、れろれろれっ♡

れろれろっ、れろれろれっ♡

れえろ、れえろ、れろれろれっ♡

◎シルヴィア：

ほら、まだまだこんなものではないでしょう？

本気、出して見なさいっ♡

★フィリーネ：

おっ、おっ、おっおおう♡

すごいのキタァ！！

これすごい、こんなの初めてえ♡

しながら、おう！レベルが上がってるのお♡

絶対さっきよりおっきくなってるうううう♡

おっ、んうううう、おほおお♡

んっ、くっ、んふう、んおおっ、おほお♡

キミのおちんちんすごいよお♡

おかしくなっちゃうう♡

★フィリーネ：

んおっ、おっ、おう、おっううう♡うっ、おっおっおんおん♡

★フィリーネ：

もう無理い、いくいくいくうう♡おほっ、いっくうう♡

イグイグイグイグウうう♡

◎シルヴィア：

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

はあはあ♡ふうーふうーふう〜♡

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んじゅっ、ちゅっ、んうう、

れろれろれろっ、れろれろれろっ♡

ふう〜♡

あのフィリーネがこんなに乱れるとは、レベルアップの効果でしょうか。

これは、私も期待してしまいますね。

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んう、れろれろっ♡れろれろっ♡

んう、ちゅっ、じゅっ♡じゅるっ♡じゅるるるう♡

◎シルヴィア：

……おや、フィリーネがいてしまいましたね。

ふふっ、すごいじゃないですか。

★フィリーネ：

は〜♡は〜♡、すごいよお♡

こんなにすごくなるなんて思わなかったあ♡

キミのおちんちんすごすぎ♡

◎シルヴィア：

では交代ですよ。

今度は私のおまんこを気持ちよくしてくださいね。

★フィリーネ：

ふふっ、シルヴィアだとすぐイッちゃうかもね。

普段からあんなに喘いでるんだもん。

◎シルヴィア：

なっ！

やめてください。

まるで私がおちんぽに弱いみたいじゃないですか！

★フィリーネ：

あははっ、ごめんごめん。

★フィリーネ：

じゃあ、今度はお姉ちゃんがサポートするね♡

★フィリーネ：

おちんちん、復活できるように、
た〜っぷりサポートしちゃうよ♡

◎シルヴィア：

ふふっ、勃起してきましたね。
さっきあんなに出したと言うのに、
なんとたくましいのでしょう。

◎シルヴィア：

ほら、挿れてください。
私のおまんこを貫くくらいの気持ちで、
思いっきり突き上げていいですよ。

★フィリーネ：

さあて、こっちはいっぱいぺろぺろしちゃお♡

★フィリーネ：

んっ、ちゅっ、れろれろれろっ♡
れろれろれろお♡

◎シルヴィア：

おっ！おおう♡

これ、は、確かに……っ♡

★フィリーネ：

ね？

すごいでしょ？

◎シルヴィア：

はい、予想以上でした。

まさかこれほどとは……。

ええ、動いていいですよ。

◎シルヴィア：

おっ、おっ、ほおっ、ほっ、ほおん！

んう、おっ、おっ、ほおっ、ほっ、ほおん！

おっ！おっ！おおおお！！

なんか、はげしっ！おおおお！！

んう、おっ、おっ、ほおっ、ほっ、ほおん！

おっ、おっ、ほおっ、ほっ、ほおん！

★フィリーネ：

ふふっ、さっきたくさんしてくれたお礼だよ。

お姉ちゃんがいっぱい責めてあげるね。

★フィリーネ：

んっ、ちゅっ、れろれろっ、れろれろっ♡

んっ、ちゅっ、れろれろっ、れろれろっ♡

★フィリーネ：

あぁん、シルヴィアの中で太いのが動いてるぅ♡

えっちすぎぃ。

★フィリーネ：

『あぁん、シルヴィアさんの体、エロすぎぃ♡』、

『普段はクールな上司が、俺のおちんちんで乱れまくってるの最高～♡』

『キンタマから熱いの無限に作られちゃうぅ～♡』

★フィリーネ：

って感じでしょ？

あははっ、ほんとにすごい顔。

こんなのキミの前でしか見せてくれないよ。

あはっ、乳首もビンビンだね♡

乳首いじったらもっと激しくしてくれるかな？

試してあげよっか？

★フィリーネ：

くりくり～、くりくり～♡

くるくるくる～♡くるくるくる～♡

★フィリーネ：

んっ、ちゅっ、れろれろっ、れろれろっ♡

れえろ、れえろ♡

んうれろれろっ、れろれろっ♡

◎シルヴィア：

おっ、おう、おっ、おんおん♡

んあ、んっくう、んふうおっ♡

おほおおお♡

おっ、おう、おっ、んおおおっ、んおあっ♡

んあ、おっおっおほおおお♡

おほっ、ほっ、ほおん♡

ほっほっほおん、ほっほおおお♡

おおっ、おくう、奥に当たってるのお♡

太いのが中で暴れてえ、おおっ、子宮降りてきちゃいますううう♡

◎シルヴィア：

おっ、おっ、ほおん！

おっ、おっおううう、ほおおんん！

◎シルヴィア：

ああっ、もう無理い、このおちんぼ強すぎい♡

硬くてえ、太くてえ♡

おう♡ううお、おっ、おっ、おほおん♡

もうこのおちんぼじゃないと満足できませんっ！

おまんこ、いくっ、いくいくいくうう♡

◎シルヴィア：

いっぐうううんん！！

★フィリーネ：

うわー、シルヴィアったらすごい絶頂。

これおしっこかな？それともお潮？

◎シルヴィア：

わかっ、わかりません。

気づいたら、んお♡

どばーって出てきちゃって、止まらないんですう♡

★フィリーネ：

わー、シルヴィアったら、

そんなに感じちゃったんだ？

◎シルヴィア：

だって、こんなの、初めてでえ……無理ですう♡

こんなの味わったら発情、止まらなくなるぅ♡

★フィリーネ：

だってさ、もっともっと付き合ってもらうからね。

◎シルヴィア：

ふうふう、はあはあ、

絶対に逃しませんからね。

こんなにおかしうしたんですから、

絶対に責任取ってもらいますよ。

★フィリーネ：

そうそう、二人とも一回じゃ、足りないからさ。

今夜は限界まで付き合ってもらうよぉ♡

※=====※

TRACK 06

※=====※

◎シルヴィア：

おはようございます。おや、思ったより顔色がいいですね。

★フィリーネ：

あ、朝勃ちしてる♡ってことはあ、今日は朝から出来そうだね。

◎シルヴィア：

ええ、レベルアップの効果でしょうか？

昨日の練習が効いたみたいですね。

たくましさはもちろんですが、

回復力や持続力も向上しているようです。

★フィリーネ：

ふふっ、チートおちんちん目指して頑張ろうね。

◎シルヴィア：

ええ、もちろん今日も練習ですよ。

朝からしっかり鍛錬しましょう。

★フィリーネ：

私たちもラストスパークの影響で、まだまだ発情おまんこだよ。

今もセックスしたくてたまらないの♡

◎シルヴィア：

ふふっ、ええ、私もフィリーネと同じ気持ちですよ。

もっとしたいです。

昨夜のセックスは楽しかったですが、

私はあれ以上の行為を望んでいます。

★フィリーネ：

おちんちんも私たちと、同じくらいのレベルにならないとね。

レベル上げはまだまだ続くよ。

◎シルヴィア：

ええ、覚悟してください。

私たちが、あなたのおちんぼを、徹底的に鍛え上げてあげます。

★フィリーネ：

ふふっ、これから楽しみだね。

◎シルヴィア：

ええ、絶対に逃しませんよ。

★フィリーネ：

ちゅっ♡

◎シルヴィア：

ちゅっ♡